第 18 回 ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカー大会 福島県予選
大会要項

1 主　催　　一般財団法人福島県サッカー協会

2 後　援　　いわき市

3 主　管　　一般財団法人福島県サッカー協会４種委員会、ＮＰＯ法人いわきサッカー協会４種委員会

4 期　日　　２０２６年１２月 12 日（土）、13 日（日）

5 会　場　　新舞子フットボール場 、 新舞子多目的広場

6 参加資格　（１）大会実施年度に一般財団法人福島県サッカー協会を通して公益財団法人日本サッカー協会（以下「ＪＦＡ」という）第４種に登録した団体（チーム）であること。登録した団体からの複数チームの出場も可とする。
（２）前項のチームに所属する小学５年生以下の選手であること。
（３）参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
（４）参加チームは傷害保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していること。
（５）２０２７年３月６日～7 日に福島県で開催される「ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカーＩＮ東北」に参加可能なチーム。

7 チーム構成　（１）チーム役員のエントリーは 10 名以内とし、ベンチ入りは２名以上５名以内とする。（東北ブロック予選は、ＪＦＡ公認コーチＤ級以上が１名以上のベンチ入り必須のため注意すること。）
（２）複数チームエントリーする場合、監督・コーチは重複可とする。
（３）選手のエントリーは、１６名以上２５名以内とする。ただし、試合にベンチ入りできる選手は２０名までとする。試合開始時点で、プレーできる選手人数が１５名以下になった場合は不戦敗とする。
（４）エントリーしていた選手の変更を、大会初日に５名まで認める。手続き方法は、別紙「選手変更手続きについて」を参照すること。
（５）チーム役員は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。

8 大会形式　地区予選を勝ち抜いた１６チームによるトーナメント方式にて実施する。
（各地区毎の代表チーム枠数は、予備エントリーによる比例配分にて決定する。）

9 競技規則　ＪＦＡ制定「サッカー競技規則 2025/26」および「８人制サッカー競技規則」に準ずる。

10 競技会規定　以下の項目については本大会の規定を定める。
（１）プレーの時間
３６分（１２分×３ピリオド）
（２）インターバル(ピリオド間)
第１ピリオドと第２ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第２ピリオドと第３ピリオド間

は５分とする。

（３）エンドの決定

第３ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分を経過したところでサイドを替える。タイミングは審判にゆだねる。

（４）試合の勝敗を決定する方法（１２分×３ピリオドで勝敗が決しない場合）

試合終了時に出場している選手によるＰＫ方式を採用し、勝者を決定する。但し、決勝戦においては６分(３分ハーフ)の延長戦を行い、決しない場合はＰＫ方式を採用する。尚、延長戦に入る前のインターバルは５分、ＰＫ方式に入るまでのインターバルは１分とする。

（５）選手の交代

ア　競技者の数は、常に８人（うち１人はＧＫ）とする。

イ　第１ピリオド出場予定の８人、第２ピリオド出場予定の８人と、その他交代要員を予め明確にする。

ウ　交代要員含め同一選手の出場は最大で２ピリオドまでとし、３ピリオド全てに出場することはできない。

エ　事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が１１人以下になったときに限り、１試合で３つのピリオドに出場することを認める。（延長戦はピリオドの数に含まない）

（ア）第１ピリオド

a　予め決められた、第１ピリオド出場予定選手が出場する。

b　試合中の事故・けが等で交代する場合は、交代要員が出場する。
（交代要員とは、提出したメンバー表に出場印がついていない選手を示す。）

c　交代要員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第２ピリオド出場予定の選手が出場できる。

d　交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない。）

（イ）第２ピリオド

a　予め決められた、第２ピリオド出場予定選手が出場する。

b　試合中の事故・けが等で交代する場合は、交代要員が出場する。

c　第１ピリオドで交代して出場していても出場はできる。

d　交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第１ピリオド出場予定の選手が出場できる。

e　交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）

（ウ）第３ピリオド

a　第１・第２の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。

b　何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。（＝自由な交代）

（エ）延長戦

a　交代要員含め、誰でも出場できる。

b　何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。（＝自由な交代）

（６）テクニカルエリア

設置する。

戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度１名のチーム役員が伝えることができる。

（７）ファウルと不正行為

警告・退場：通常の競技規則に準ずる。

退場：当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に８人でプレーする。

大会期間中、警告を２回受けた選手等は、次の１試合に出場できない。
本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の１試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。

（８）中断及び対応について
試合中、降雨・雷の際は大会本部の判断で中断する。
再開方法は中断から 20 分様子を見て、再開が難しい場合、第２ピリオド終了前はスコアに関係なく再試合とする。第２ピリオド終了後は、同点の場合はトスにて次回戦進出チームを決定し、得点に差がある場合はそこで勝敗を決する。

（９）アディショナルタイムの表示
実施しない。

（10）飲水タイム
採用しない。

（11）負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許されるチーム役員の数
２名以内とする。

（12）ユニフォーム
参加申込書に記載した登録ユニフォームを着用すること。ただし、ユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものとする。また、フィールドおよびゴールキーパーの正・副２組のユニフォーム（計４組）の色は、明確に異なる色にする（同系色または類似色にしない）こととし、チームは試合会場に正・副２組のユニフォームを持参しなければならない。
選手番号については１～99 を使用し 0 は認めない。
ユニフォームへの広告掲示については、JFA「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合のみこれを認める。

（13）ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

（14）アンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの色はチーム内で同色の場合はその色を認める。

（15）フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。また、アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。アームバンドのデザインや色は問わない。

11 審　　判　（１）審判は１人の主審と補助審判が指名される。
（２）準決勝、３位決定戦、決勝は大会本部で主審と補助審判を派遣する。

12 組み合せ　一般財団法人福島県サッカー協会４種委員会にて決定する。

13 懲　　罰　（１）（一財）福島県サッカー協会理事会の決定基づき、第 18 回ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカー大会福島県予選に大会規律委員会を設置し、（一財）福島県サッカー協会規律・裁定委員会は（公財）日本サッカー協会の懲罰規定第３条（以下、懲罰規定という）により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規定第 25 条に基づき当該大会規律委員会へ再委任する。

（２）前項の再委任の範囲は、戒告、譴責及び１試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。

（３）委員構成

委員長：（一財）福島県サッカー協会　渡辺　正一規律・裁定委員会委員長
委　員：馬目　茂樹

14　参加申込　（１）各地区代表チームはエントリー用紙に必要事項を記載し、各地区の４種委員長へ提出すること。
（２）各地区の４種委員長は、２０２６年１１月１３日（金）までに大会事務局へメールにて申し込むこと。（チーム単独での申込みは受け付けない。）

＜大会事務局＞いわきＦＡ４種委員長　馬目　茂樹
E-MAIL：manome.5617@gmail.com

15　参　加　料　２０２６年１１月１３日（金）までに１０，０００円を指定口座へ振り込みをすること。
※振込名義は必ずチーム名とすること。

東邦銀行　大槻支店　普通３７９９１９
一般財団法人　福島県サッカー協会　会長　青田　由広

16　選　手　証　各チームの登録選手は、JFA 発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真登録により顔の認識ができるものであること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
※選手証とは、JFAWEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

17　表　　彰　優勝、準優勝、第３位に賞状を授与する。
（上位２チームを東北ブロック予選の福島県代表チームに推薦する。）

18　そ　の　他　（１）宿泊および弁当手配については、宿泊等申込書にて「いわき旅行社」へ直接申し込みすること。
（２）大会要項に規定されていない事項については、本協会において協議の上決定する。